

昭和56年度花壇管理状況

竹 下 宏

昭和56年度は、大、小花壇及び大温室横花壇で年5回、その他の花壇では4～6回の植え替えを行い、31種類約67,800株の草花を植え付けた。

概要及び所感

模様)本年度は、大花壇では菱形図形を基本とし、小花壇では、例年通り円を基本とした。大花壇では、第2回のサルビア、マリーゴールドの組み合わせのみ立体的構成とし、その他はすべて、平面的模様とした。小花壇では、第4回のポットマム以外は、立体的な構成となるように植え付けた。

配色)第1回のペゴニアでは、これまでの反省から、すべて緑葉種のを植栽した。これにより、色彩が明瞭になり、明るい雰囲気を作り出すことができた。第6回のパンジーでは、黄、青、白の3色のパンジーを用いたが、全体的に明るいものはなやかさを欠いた色調となっ

てしまった。むしろ、黄色を少なくし、各色同じ割合とした方がよかったように思われた。

植物)第1回植え付けで小花壇その他で、キンギョソウ(矮性種)を初めて使用した。花色がカラフルで春の花壇にふさわしいが、花期が2～3週間で、その後、次の花まで間があるのが残念である。第3回植え付けでは、今までフラワーポットに用いていたインパチェンス(スパーク系)を大温室横花壇と展示室前花壇に植え付けた。

インパチェンスはこんもりとクッション状になり、絶え間なく開花するので、境栽花壇やリボン花壇に好適であると思われる。病害虫については、立枯れになる株が幾らかみられた。土壤消毒による予防が必要であろう。第5回植え付けでは、小花壇にビオラ(ゴールデンカーペット)を用いた。耐寒性は前年度実証済みであるが、株は春までにはかなり広がり、草丈も低くまとまるため、模様花壇には良い材料と思われる。

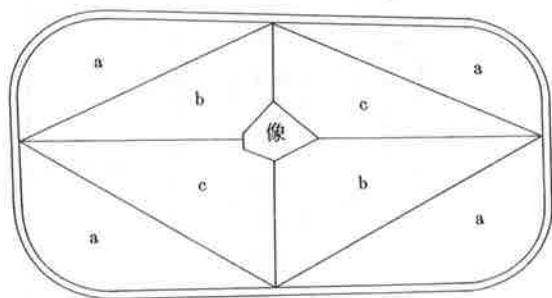


図. 1

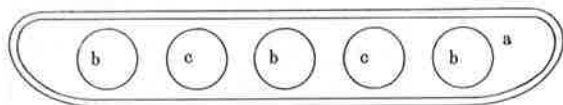


図. 2



薬剤散布

昭和56年度花壇植物植栽状況

回	花壇名	植付図	植 物 名	位置	株数(株)	面積(m ²)	植付期日
1	大 花 壇	1	ベゴニア・センパフローレンス(白)	a	3,182	88	昭和56年 5月8日
			〃 (桃)	b	1,685	47	
			〃 (赤)	c	1,685	47	
	小 花 壇	2	ベゴニア・センパフローレンス(白)	a	1,328	37	
			キンギョソウ(矮性種)(混合)	b, c	814	23	
大温室横花壇	-	フロックス・ドラモンドイ(混合)	-	907	18		
		ベゴニア・センパフローレンス(桃)	-	824	23		
2	大 花 壇	1	サルビア(赤)	b, c	2,340	94	7月10日
			フレンチ・マリーゴールド	a	2,210	88	
	小 花 壇	2	フレンチ・マリーゴールド	a	923	37	
			サルビア・フェリナセア(青)	b, c	565	23	
大温室横花壇	-	テランセラ	-	1,122	23		
		ニチニチソウ(桃)	-	333	9		
		〃 (白)	-	333	9		
3	大温室横花壇	-	インパチェンス(混合)	-	666	18	9月11日
4	大 花 壇	1	ポットマム(黄)	a	1,414	88	10月23日
			〃 (桃)	b	749	47	
			〃 (赤)	c	749	47	
	小 花 壇	-	ポットマム(黄)	a	590	37	
			〃 (桃)	b	217	14	
〃 (赤)			c	145	9		
5	大 花 壇	1	ハボタン(赤)	b, c	1,498	94	11月27日
			〃 (白)	a	1,414	88	
	小 花 壇	2	ビオラ(黄)	a	2,362	37	
			ハボタン(白)	b	217	14	
			〃 (赤)	c	145	9	
	大温室横花壇	-	ビオラ(黄)	-	1,466	23	
ハボタン(赤)			-	148	9		
〃 (白)	-	148	9				
6	大 花 壇	1	パンジー(黄)	a	4,332	88	昭和57年 2月26日
			〃 (青)	b	2,293	47	
			〃 (白)	c	2,293	47	
	小 花 壇	2	ノース・ポール	b, c	1,107	23	
			パンジー(青)	-	453	9	
大温室横花壇	-	〃 (橙)	-	453	9		